

# Revive Time:

# Kaki Tree Project

千葉市美術館拡張リニューアルオープン・開館25周年記念

「宮島達男 クロニクル 1995-2020」関連イベント

## 時の蘇生・柿の木プロジェクト

## 林 勇気「循環の木」

ワークショップ「アニメーション作品の出演者・住人になろう!」 8月29日|土|、30日|日| (事前申込制)

「記憶に残っている物や景色」写真募集 6月1日|月|-8月15日|土|

主催：千葉市美術館 協力：「時の蘇生・柿の木プロジェクト」実行委員会

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art



## 時の蘇生・柿の木プロジェクト

「時の蘇生・柿の木プロジェクト」は、現代美術作家・宮島達男が作品制作のリリースのために長崎を訪れ、樹木医の海老沼正幸との出会いをきっかけに、1996年から開始されたプロジェクトです。「被爆柿の木二世」の苗木を世界中に植樹し、育てることを通して、子ども達と一緒に「平和」、「命の大切さ」、「人間の生き方」について考える機会となることを目指しています。これまで世界26ヶ国、312ヶ所以上に植樹が行われ、国内では幼稚園や小・中学校、公園、美術館など、さまざまな場所で実施されてきました (<https://kakitreeproject.com>)。千葉市美術館ではこの度、「宮島達男 クロニクル 1995-2020」展にあわせて、「時の蘇生・柿の木プロジェクト」を実施し、2021年初春の苗木の植樹に向けて、映像作家の林勇気とともに様々な取組みを行っていきます。

## 林 勇気 《循環の木》

現在、わたしたちは様々な事象により分断が可視化される世界を生きています。インターネットにも国境が明確に存在しています。それでも人は様々な物事とのつながりをもとめます。いずれも人の根源的な欲求のように見え、インターネットやSNSを通じてその事が鮮やかに浮かび上がってきます。現代美術作家の宮島達男さんが1996年から開始し現在に続く「時の蘇生・柿の木プロジェクト」は、「被爆柿の木二世」の苗木を世界中に植樹し、育てることを通して、子ども達と一緒に「平和」、「命の大切さ」、「人間の生き方」について考える機会となることを目指しています。このたび、千葉市美術館での植樹に向けて、人々の記録のかけらをつなぎ合わせて世界をつくり、循環させることで未来について考える試みをおこないます。これまでのプロジェクトで植樹され、様々な国や時間軸に存在している柿の木を見るために、映像の中の住人たちが集まります。木は環境に左右されながら過去、現在、未来を生きる生命の象徴のようにも見えます。時間と場所を超えて集まった住人たちはその木を見て何を思うのでしょうか。さらに私たちは画面を通してその住人たちの姿に何をみるのでしょうか。

《循環の木》はいくつかの写真と映像を組み合わせて制作します。

- ① これまで行われた世界中の「柿の木プロジェクト」とそれに関する写真
- ② 千葉市美術館でのワークショップで撮影した世界の住人（アニメーション・映像の出演者）たち
- ③ 募集をして収集した写真

多くの方々とともに未来について考え、それぞれの過ごしてきた時間の大切さに思いを馳せる機会になることを願っています。皆さまのご参加をお待ちしています。

## ワークショップ

### 「アニメーション作品の出演者・住人になろう!」

これまでのプロジェクトを通して国内外に植樹された柿の木を想像してから、アニメーション作品の出演者として、歩く、座るなどの簡単な動きを撮影します。世界中のプロジェクト参加者や柿の木との出会いを、アニメーションを通して体験することができます。

※ワークショップ中に撮影した写真・動画は、企画展「宮島達男 クロニクル 1995-2020」(2020年9月19日-12月13日)において、作品の一部として展示されます。

講師：林勇気（映像作家）

対象：子どもから大人まで（親子などグループ参加可能）/ 定員：24人（組）

事前申込制 / 参加費：無料 / 5階ワークショップルームにて

日時：8月29日（土）、30日（日）

- ①10:00-10:30 ②10:30-11:00 ③11:00-11:30 ④11:30-12:00  
⑤13:00-13:30 ⑥13:30-14:00 ⑦14:00-14:30 ⑧14:30-15:00  
⑨15:00-15:30 ⑩15:30-16:00 ⑪16:00-16:30 ⑫16:30-17:00

※各時間1人（組）ずつの参加となります。

【申込方法】当館ホームページからお申し込みください。

※申込締切：8月12日（水）※応募多数の場合は抽選となります。

### 「記憶に残っている物や景色」写真募集

映像作品《循環の木》の素材や、「宮島達男 クロニクル 1995-2020」会場での展示の一部となる写真を募集します。過去に撮影した写真の中から、記憶に残っている物や景色の映っている写真を1〜5枚選び、件名を「千葉市美術館 柿の木プロジェクト写真募集」として、本文にその写真を選んだ理由（任意）をご記載の上、「[kakinoki@ccma-net.jp](mailto:kakinoki@ccma-net.jp)」までメールにてお送りください。

※募集期間は6月1日（月）-8月15日（土）です。※本プロジェクト内で使用する場合において、ご応募いただいた写真の著作権は放棄されたものとみなします。

林 勇気（映像作家）

1976年京都市生まれ。1997年より映像制作を始める。膨大な量の写真をコンピューターに取り込み、切り抜き重ね合わせることでアニメーションを制作。自ら撮影した写真のほか、人々から提供された写真やインタビューも素材とした制作スタイルにより、デジタルなメディアやインターネットを介して行われる現代的なコミュニケーションや記憶のあり方を問い直す。近年は他ジャンルとのコラボレーションや、子どもたちとのワークショップを通しての作品制作・展示も多数試み、映像が内包する社会性について模索している。

<http://kanyukuyuki.tumblr.com/>



千葉市美術館拡張リニューアルオープン・開館25周年記念

### 「宮島達男 クロニクル 1995-2020」

会期：2020年9月19日（土）-12月13日（日）

※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。

- ・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。
- ・会場では、社会的距離を確保するため、入室人数の制限などをお願いする場合があります。

※予定が変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

千葉市美術館

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8 Tel.043-221-2311（代表）

<https://www.ccma-net.jp>